

会 議 録

会議名	平成 20 年度 第 5 回 相模原市行政評価検討委員会		
事務局	企画部 企画政策課 都市経営推進室		
開催日時	平成 20 年 11 月 20 日（木曜日）19 時から 21 時まで		
開催場所	市役所会議室棟 1 階 第 8 会議室		
出席者	委員	6 人（吉田委員、霧生委員、西本委員、出沼委員、戸川委員、西委員）	
	その他	0 人	
	事務局	4 人（都市経営推進室長 外 3 人）	
公開の可否	公開可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 座長あいさつ 2 傍聴の確認 3 議題 平成 20 年度施策評価 3 次評価報告書について 平成 20 年度施策評価にかかる改善計画書（理由書）の検証 4 その他 次回スケジュールについて		

【審議経過】

主な内容は次のとおり。

- 1 座長あいさつ（吉田民雄委員）
- 2 傍聴の確認（なし）
- 3 議題

◇平成 20 年度施策評価 3 次評価報告書について

・・資料 1 および報告書

◇平成 20 年度施策評価にかかる改善計画書（理由書）の検証

・・改善計画書

- 4 その他

◇特になし。

◇次回のスケジュールについて

平成 21 年 1 月 15 日（木）午後 7 時から開催

以下主な意見、質疑応答等（○は委員の発言、●は事務局の発言）

【3 次評価報告書について】

◇特になし

【改善計画書の検証】

○今すぐに行える取り組みを提示していない。「施策評価になじまない」と結論付けてしまうのは、担当課のやる気が疑われる。アイデアレベルでも良

いので提示すべきである。

- 改善計画書の具体性については、各課との調整に時間的な制約がある中で作業しており、原案については不十分な面も否めない。
- 各所属長の意識の問題に負うところもあるため、啓発を強化する必要があると考えている。
- 外部提出用に文書が作られているため、課題の真の姿が見えてこないのは残念であり、所管課の努力が見えるようにする必要がある。
- 評価から改善への動きが、日々の業務と結びついていないのではないか。
- 各改善報告書のレベルが、都市経営推進室の取り組みのレベルであるといえるのではないか。
- 各課とも成果指標の設定を難しく考え過ぎのように思われる。例えば商店街の活性化の指標を通行量調査の実績で捉えるなどの発想が必要ではないか。
- 全市レベルの視点に立った思考が根付いておらず、政策分析のトレーニングが出来ていない。例えば「さがみはらしさ」については、シティセールス関連の事業の評価を束ねれば判定が可能なのではないか。
また、今回の改善報告書は全体的に改善報告ではなく、作文レベルといわざるを得ない。対策として改善計画書のレイアウトを変える必要があると思うので、早急に検討されたい。
- 評価の大切さをもっと市の上層部の人間が語るべきである。
- 今後、財政難が進行する中で、事業のスクラップが増加していくものと考えているが、その根拠としての評価の重みは増していく。
- 評価の際に、期待値を設定しておくことが必要ではないか。
- 予算を投入しても、市民満足度を高めるような事業ができていない。

【決定事項】

- ◎3次評価結果報告書の内容は、事務局案のとおりとする。
- ◎改善計画書については、事務局で再検討したものを提示する。
- ◎次回の開催日は、21年1月15日 午後7時00分からとする。

相模原市行政評価検討委員会委員名簿

氏名	所属団体等	出欠
吉田 民雄	東海大学教授	出
霧生 卓	公認会計士	出
野中 保	相模原市自治会連合会	欠
西條 政夫	相模原商工会議所	欠
佐々木亮一	相模原青年会議所	欠
伊藤 武	相模原地域連合	欠
西本 敬	相模原ボランティア協会	出
出沼 聡	公募委員	出
戸川 武彦	公募委員	出
西 秀秋	公募委員	出